

サービスS評価講評

カテゴリ-6 サービス提供のプロセス

評価標準項目以上の実施事項について

サブカテゴリ-1 サービス情報の提供

		取組が理解される	効果が現われ出している	合計	22年度
1	評価項目 6-1-1	○	○	2	2
	利用希望者等に対してサービスの情報を提供している				
	題	家族と一緒に「便り」「新聞」等を作成、リニューアルしたホームページでも提供している			
	講評内容	家族も参加して施設の情報を提供している。地域に根ざし家族との絆を大切に、愛着あるものになっている。さらにホームページでブログやツイッターを始めて提供している。			

サブカテゴリ-2 サービスの開始・終了時の対応

2	評価項目 6-2-1	○	○	2	2
	サービスの開始にあたり利用者等に説明し、同意を得ている				
	題	入所前から家族とのコミュニケーションを深めている			
	講評内容	入所前から利用者や家族とのコミュニケーションを大切にし情報を得ている。自宅を訪問したり、家族からの相談や見学にも応じ、全てを記録化している。			
3	評価項目 6-2-2	○	○	2	2
	サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるように支援している				
	題	家族会や家族との連携が利用者の不安やストレス軽減に繋がっている			
	講評内容	入所間もないころは傾聴を徹底しているが、家族会の協力もあり「おしゃべり会」で家族の不安を解消し利用者に繋げている。さらに宿泊したり食事の同席等、家族との協力体制を整えている。職員は随時カンファレンスで情報共有と統一的支援を行っている。利用者の計画も1か月間の暫定で作成している。			

サブカテゴリ-3 個別状況に応じた計画策定・記録

4	評価項目 6-3-1	○	○	2	2
	定められた手順に従ってアセスメントを行い、利用者の課題を個別のサービス場面ごとに明示している				
	題	3か月に1回モニタリング会議が実施され関係する各課で利用者の情報が統一化されている			
	講評内容	利用者の詳細なアセスメント記録が共有化され、各課での利用者情報の分析や3か月に1回のモニタリング会議で計画の変更も実施され、利用者を理解することと支援の統一化に繋がっている。			
5	評価項目 6-3-2	○	○	2	2
	利用者等の希望と関係者の意見を取り入れた個別の施設サービス計画を作成している				
	題	90%以上の家族がケアプラン会議に出席し利用者等の意見が取り入れられた計画が作成されている			
	講評内容	6か月サイクルでケアプランが見直され、ケアプラン会議には関連する各課と可能な利用者、90%以上の家族が出席し利用者本位のプランが作成されている。			
6	評価項目 6-3-3	○	○	2	0
	利用者に関する記録が行われ、管理体制を確立している				
	題	ほのぼのシステムの「ケース」に」利用者の情報がたくさん詰まっている			
	講評内容	利用者情報のすべての記録がシステムへの入力作業となり、過不足のない仕組みができ上がっている。24時間シートとして全体での表示以外、看護や栄養等項目別にも確認でき、職員が活用している。			

		評価標準項目以上の実施事項について			
		取組が理解される	効果が現われ出している	合計	22年度
7	評価項目 6-3-4			0	0
	利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している				
題	ほのぼのシステムで共有化している				
講評内容	介護ソフト「ほのぼの」にリアルタイムでの入力により利用者の情報を共有化しているが、特筆までには至らない。				
サブカテゴリ4 サービスの実施					
8	評価項目 6-4-1			2	2
	施設サービス計画に基づいて自立生活が営めるよう支援を行っている	○	○		
題	計画作成には利用者や家族が参加し要望を組み入れ、支援は「ほのぼの」に記録、管理し自立生活に向けた支援が行われている。				
講評内容	利用者の計画に基づいた支援は日常の支援の記録を「ほのぼの」に記録し、モニタリング会議やケアプラン会議に関係するすべての課(職種)が出席して連携した支援の中で利用者一人ひとりの「自立生活」を目指し、支援している。6ヵ月毎に実施されるケアプラン会議には90%以上の家族が参加している。				
9	評価項目 6-4-2			2	2
	食事の支援は、利用者の状態や意思を反映して行っている	○	○		
題	歯科医師や給食会社との連携で経口での食事摂取を目指している				
講評内容	栄養ケアマネジメントを実施し、食事の経口での摂取の継続のため歯科医師と連携している。また、給食会社とも連携し嚥下困難食(ソフト食)の提供を本格的に開始した。				
10	評価項目 6-4-3			2	2
	利用者が食事を楽しむための工夫をしている	○	○		
題	出前でのマグロ解体ショーを見学し刺身や鰻に舌鼓を打っていた				
講評内容	職員が特賞に当選し、出張での寿司屋マグロ解体ショーを見学、ほとんどの利用者の大好きな刺身や鰻を賞味した。一大イベントとして家族や近隣も招待し、利用者は満足そうであった。その他、バイキングや出前、その場で選べる選択食、入浴委員会と合同企画で温泉めぐりと郷土料理も提供し、利用者のお楽しみを増やしている。				
11	評価項目 6-4-4			2	2
	入浴の支援は、利用者の状態や意思を反映して行っている	○	○		
題	今年度も入浴に関するアンケートを実施し週3回の入浴も提供している				
講評内容	本年度も昨年度に引き続きアンケートを実施し入浴回数を1回増やし、希望者には週3回の入浴を実施、約3割の利用者が3回入浴をしている。また、全国の温泉の入浴剤を用意し、利用者の楽しみを増やしている。				
12	評価項目 6-4-5			2	2
	排泄の支援は、利用者の状態や意思を反映して行っている	○	○		
題	自然排泄を促しオムツゼロを目指している				
講評内容	昨年に引き続き自然排泄でオムツゼロを目指している。今年度は食事や水分だけでなく運動にスポットを当てた支援から自然排泄を目指している。				

		評価標準項目以上の実施事項について			
		取組が理解される	効果が現われ出している	合計	22年度
13	評価項目 6-4-6	○	○	2	1
	移動の支援は、利用者の状態や意思を反映して行っている				
	題 企画を立て利用者一人ひとりの要望に応じた外出支援を行っている				
	講評内容 利用者の図書館へ行きたいとの要望に、職員が計画し企画している。そのための施設内での訓練や、ごく近くへの外出等で自力での移動の程度をチェックし、車椅子等の準備も怠らないようにしている。要望が叶った時の満面の笑顔や、さらに外出の機会も増やす効果が見られる。				
14	評価項目 6-4-7	○		1	1
	利用者の身体機能など状況に応じた機能訓練等を行っている				
	題 職員が福祉用具を定期的に点検している				
	講評内容 毎月20日に定期点検の日として固定した職員が福祉用具の点検を実施している。				
15	評価項目 6-4-8	○	○	2	2
	利用者の健康を維持するための支援を行っている				
	題 医師、歯科医、看護、介護との連携がとれ終末期の対応も構築されている				
	講評内容 医療機関の連携がとれ、内科、整形外科、皮膚科、精神科、歯科等、それぞれ往診もなされ、施設の看護や介護部門と密に連携がとれている。利用者や家族にとっても安心である。また、「看取りケアのしおり」も作成され、家族の確認を基に自然体での対応が行われている。				
16	評価項目 6-4-9	○		1	1
	利用者が日々快適に暮らせるよう支援を行っている				
	題 利用者はお洒落を楽しんでいる				
	講評内容 自立性の高い利用者はビューティーセミナーのプロによる本格的なお化粧で、お洒落を楽しんでいる。				
17	評価項目 6-4-10	○	○	2	2
	利用者の施設での生活が楽しくなるような取り組みを行っている				
	題 数々のレクリエーションと利用者の参加型コンテストで楽しんでいる				
	講評内容 買物サロン、ファッションショー、コンサート、コンテスト等、さらに居酒屋、動物園、映画、カフェ、買い物等外出によるレクリエーション等々大きな行事以外にもたくさんのレクリエーションで楽しんでいる。さらに今年も写真での「笑顔コンテスト」が開催され、オールドファッションショーも行われている。				
18	評価項目 6-4-11	○	○	2	1
	地域との連携のもとに利用者の生活の幅を広げるための取り組みを行っている				
	題 温泉旅行を楽しみマグロの解体ショーでは地域と交流もされている				
	講評内容 利用者の自立度に応じた2班別々の温泉旅行を1泊で楽しみ、懸賞で当選した寿司屋のマグロ解体ショーでは地域住民も招いて総勢300名以上で楽しんでいる。解体ショーの前には中学生と共に消防訓練も実施、地域との日常的な関わりを深めている				

		評価標準項目以上の実施事項について			
		取組が理解される	効果が現われ出している	合計	22年度
19	評価項目 6-4-12	○	○	2	2
	施設と家族との交流・連携を図っている				
題		家族会との連携や絆が深まっている			
講評内容		家族会の「懇親会」と「おしゃべり会」が毎月開催され、施設も交えた意見交換や連携を深めている。家族会全体での清掃活動（ぴかぴかキャンペーン）や、個別やグループでのボランティア等も実施され、新聞も発刊している。			

サブカテゴリー5 プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重

20	評価項目 6-5-1			0	0
	利用者のプライバシー保護を徹底している				
題		個別ケアマニュアルに基づいた支援を行っている			
講評内容		S評価材料としては見当たらない。			
21	評価項目 6-5-2	○		1	1
	サービスの実施にあたり、利用者の権利を守り、個人の意思を尊重している				
題		マナー研修を実施している			
講評内容		マナー研修を実施し、感想文を提出したり振り返りを行っている。利用者に敬意を持つことと、先読みの対応を心掛けている。			

サブカテゴリー6 事業所業務の標準化

22	評価項目 6-6-1	○	○	2	2
	手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている				
題		新人介護職員の育成にプリセプター制度を導入している			
講評内容		新人職員にはOJTでの研修を実施しているが、法人で認定されたプリセプターによる指導も実施されている。心の支援も行われているため、新人職員の知識や技術の習得が速くなっている。法人でも研修が行われるため、プリセプター自身の指導技術の向上にもつながっている。			
23	評価項目 6-6-2	○	○	2	2
	サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている				
題		ISO9001に基づくサービスが実施されている			
講評内容		ISO9001の認証に基づき、各種マニュアルが整備され、更新や見直しが仕組みとして実施されている。各課や専門委員会により定期的に業務の基本事項や手順の見直しが実施されている。			
24	評価項目 6-6-3	○	○	2	2
	さまざまな取り組みにより、業務の一定水準を確保している				
題		木曜塾で毎週研修や勉強会が行われている			
講評内容		業務の一定水準以上を確保するため、木曜塾で毎週研修会や勉強会が行われている。開設時から実施され、事業計画や利用者支援で職員にとって重要な事項を年間50回以上実施している。さらに、各フロアのプリセプターによる指導、助言、相談が業務の水準を上げている。			

合計	41	37
総数	48	48

比率 **85%** **77%**